

第128期 中間株主通信

2025年4月1日 ▶ 2025年9月30日

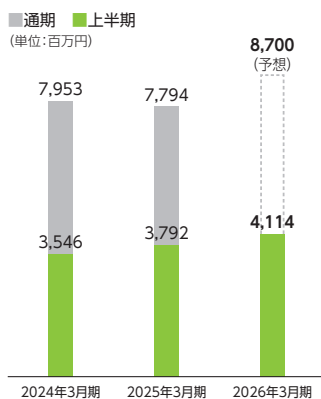
証券コード：4098

2026年3月期 上半期 連結財務ハイライト

売上高

4,114 百万円

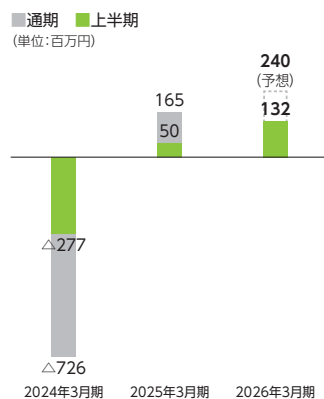
前 年
同期比 8.5% 増 



営業利益

132 百万円

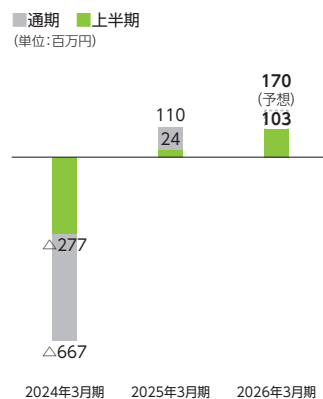
前 年
同期比 159.8% 増 



経常利益

103 百万円

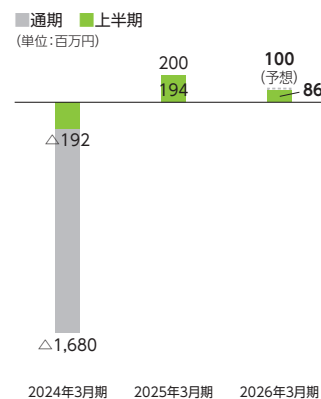
前 年
同期比 316.6% 増 



親会社株主に帰属する
中 間 純 利 益

86 百万円

前 年
同期比 55.8% 減 



2026年3月期 通期連結業績予想

売上高

8,700 百万円

前期比 11.6% 増 

営業利益

240 百万円

前期比 45.2% 増 

経常利益

170 百万円

前期比 54.0% 増 

親会社株主に帰属する
当 期 純 利 益

100 百万円

前期比 50.1% 減 



さらに詳しい財務情報は
当社IRサイトをご覧ください。

チタン工業 IR



<http://www.titankogyo.co.jp/irinfo/irdata/>





トップメッセージ

TOP MESSAGE

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

第128期 上半期(2025年4月1日から2025年9月30日まで)の業績につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長執行役員 井上 保雄

第128期 上半期の業績について

当上半期におけるわが国の経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、政府の各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続きましたものの、米国の通商政策による影響や物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社グループは、第7次中期経営計画(2025年3月期～2027年3月期)に基づき、化粧品向け製品の拡販と収益性の向上及びリスク耐性の強化を進めるなど、企業価値の向上に取り組んでまいりました。

当上半期の売上高につきましては、前年同期を上回る4,114百万円(前年同期比8.5%増)となりました。

損益面につきましては、営業利益は132百万円(前年同期比159.8%増)、経常利益は103百万円(前年同期比

316.6%増)となりました。また、前年同期に計上した投資有価証券売却益の剥落などにより、親会社株主に帰属する中間純利益は86百万円(前年同期比55.8%減)となりました。

当期の中間配当につきましては、今期の業績及び今後の経営環境を慎重に検討いたしました結果、誠に遺憾ながら見送ることとさせていただきますので、何卒ご了承を賜りますようお願い申し上げます。

上半期の業績の上方修正について

上半期の実績は、当初予想(2025年5月14日公表)に対して、売上高はほぼ予想どおりとなりましたが、徹底したコスト削減を実施した結果、損益面は予想を上回る進捗となりました。

引き続き、業績の改善に向けた取り組みを継続してまいります。

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
① 当初予想	4,100	60	30	10
② 上半期実績	4,114	132	103	86
増減額(②-①)	14	72	73	76

CSR報告書(2025)

当社は、「身近な最先端」を担う企業グループとなることを目指して、持続可能な社会の実現に向け、CSR活動に取り組んでおります。今年度も当社のCSR活動をまとめた「CSR報告書(2025)」を作成し、当社ホームページ(http://www.titankogyo.co.jp/sustainability/csr_report/)に掲載しております。本報告書が、当社のCSR活動へのご理解の一助となり、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションの充実につながれば幸いです。

セグメント別の概況

酸化チタン関連事業



◆取扱製品◆

- 超微粒子酸化チタン
- 化粧品用酸化チタン
- 導電性無機酸化物
- チタン酸塩
- チタン酸リチウム

電子写真用トナー、化粧品、リチウムイオン二次電池等

売上高 **2,527** 百万円 前年同期比 **8.5%増**

酸化チタン関連事業につきましては、化粧品向け製品などの出荷が増加したことに加え、販売価格値上げの効果がありました。

その結果、当セグメントの売上高は2,527百万円（前年同期比8.5%増）となりましたものの、生産数量の減少に伴う原価高などの影響により、営業損失は5百万円（前年同期は営業損失20百万円）となりました。

酸化鉄関連事業



◆取扱製品◆

- 合成酸化鉄

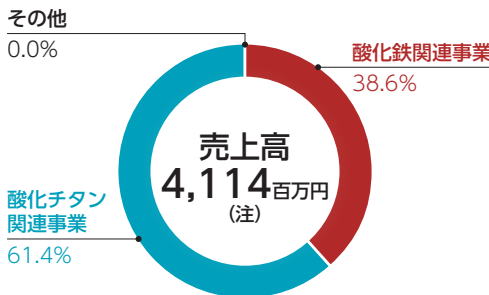
電子写真用トナー、化粧品、塗料等

売上高 **1,586** 百万円 前年同期比 **8.4%増**

酸化鉄関連事業につきましては、ブレイキパッド向け製品の新規採用や化粧品向け製品の出荷が増加したことに加え、販売価格値上げの効果がありました。

その結果、当セグメントの売上高は1,586百万円（前年同期比8.4%増）となり、売上高の増加及びコスト削減などにより、営業利益は133百万円（前年同期比105.2%増）となりました。

売上高構成比



(注) 1 セグメント間取引につきましては、相殺消去しております。

2 売上高のうち、輸出の金額は823百万円で、売上高に占める比率は20.0%となっております。

今後の見通しについて

今後の見通しにつきましては、政府の各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待されますものの、通商政策をはじめとした米国の政策動向による影響や物価上昇の継続が個人消費に及ぼす影響など、先行き不透明な状況が続くものと思われます。

当社グループといたしましては、第7次中期経営計画に

基づき、化粧品向け製品の拡販と収益性の向上及びリスク耐性の強化への取り組みを継続し、あわせて社会とともに繁栄する持続可能な社会の実現を追求することで、当社グループの企業価値の向上を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

ハラル認証の取得

当社は、2024年8月に化粧品に使用される一部製品のハラル認証を取得しました。ハラル化粧品市場は成長を続けており、販売強化を推進するとともに、多様化する社会で宗教や各国のライフスタイルに配慮したもののづくりに励んでまいります。

◆ハラル認証とは

ハラル認証とは、豚やアルコールなどのイスラームで禁じられているものが、製品やサービスに含まれていないことを客観的証拠をもって確認し、認証する仕組みです。

ハラル認証を取得することで、製品への禁止成分の含有がないことはもちろん、製造ラインや包装材にも当該成分が含まれないことを保証し、あらゆる懸念を排除できる管理体制が整っていることを証明でき、ムスリムの方たちが安心して使用できる製品を提供することが可能になります。

◆ハラル化粧品市場について

○インドネシアなど、人口の増加に伴い市場規模が成長を続けています。

○ハラル認証品への安全・クリーンなイメージが注目され始めています。

連結貸借対照表（要旨）			連結損益計算書（要旨）		
(単位：百万円)			(単位：百万円)		
科 目	前期末 (2025年3月31日現在)	当上半期末 (2025年9月30日現在)	科 目	前上半期（累計） (2024年4月 1 日から 2024年9月30日まで)	当上半期（累計） (2025年4月 1 日から 2025年9月30日まで)
【資産の部】			売上高	3,792	4,114
流動資産	7,105	7,317	売上原価	3,231	3,460
固定資産	6,887	6,620	売上総利益	561	654
有形固定資産	6,246	5,952	販売費及び一般管理費	510	521
無形固定資産	4	2	営業利益	50	132
投資その他の資産	636	664	営業外収益	25	19
資産合計	13,992	13,937	営業外費用	51	47
【負債の部】			経常利益	24	103
流動負債	4,947	5,144	特別利益	280	1
固定負債	3,391	3,053	特別損失	0	2
負債合計	8,339	8,197	税金等調整前中間純利益	305	102
【純資産の部】			法人税等	86	14
株主資本	4,716	4,780	中間純利益	218	88
その他の包括利益累計額	394	415	非支配株主に帰属する中間純利益	23	2
非支配株主持分	541	543	親会社株主に帰属する中間純利益	194	86
純資産合計	5,652	5,739			
負債純資産合計	13,992	13,937			

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要（2025年9月30日現在）	
社 名 (英 文 社 名)	チタン工業株式会社 Titan Kogyo, Ltd.
設 立 年 月 日	1936年(昭和11年)6月22日
本 店 所 在 地	〒755-8567 山口県宇部市大字小串1978番地の25
資 本 金	34億4千万円
事 業 内 容	酸化チタン及び酸化鉄並びにこれらに付随する化学工業品の製造及び販売

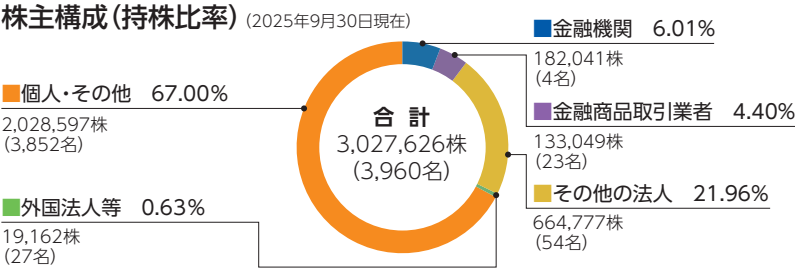
役員（2025年9月30日現在）		
代表取締役社長執行役員	井 上 保 雄	
取締役専務執行役員	長 岡 佳 孝	
取締役専務執行役員	長 岡 茂	
取締役常務執行役員	千々松 義 人	
取締役常務執行役員	西 田 敦	
取締役(常勤監査等委員)	松 崎 正 人	
社外取締役(監査等委員)	佐 藤 久 典	
社外取締役(監査等委員)	松 野 文 子	

株主メモ			
事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日	定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
特別口座の口座管理機関			
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL0120-232-711（通話料無料） 郵送先 〒137-8081新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所スタンダード市場		
公 告 の 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.titankogyo.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行される日本経済新聞に公告いたします。)		

株式の状況（2025年9月30日現在）		
発行可能株式総数	発行済株式の総数（自己株式を含む）	株主数
8,400,000株	3,027,626株	3,960名

大株主(上位10名)（2025年9月30日現在）		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社東芝	200,000	6.72
稲畑産業株式会社	147,749	4.96
株式会社山口銀行	128,223	4.31
井本浩二	100,400	3.37
株式会社山田事務所	96,195	3.23
小西安株式会社	93,568	3.14
平井健治	87,300	2.93
株式会社SBI証券	44,612	1.50
GMOクリック証券株式会社	31,200	1.05
第一生命保険株式会社	29,000	0.97

(注) 1 当社は、自己株式を51,105株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。



- (ご注意)
- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。